

# 東京理科大学 理工学部 情報科学科

東京理科大学は現在、3つの地域に校舎をもっています。1つは基礎工学部1年生を全寮制で教育する長万部（北海道）校舎。それから、基礎工学部2年生以上の学生と理工学部学生をかかえる野田（千葉県）校舎。そして、その他の全学部（理学部1部および2部、工学部1部および2部、薬学部）が、神楽坂（東京）にあります。

私たちの属する情報科学科は、昭和51年4月に、理工学部内に開設され、学年進行とともに、55年4月に修士課程、57年4月に博士課程の設置をみました。学部入学定員は90名、修士10名、博士4名となっています。この学科は、開設時から現在に至るまで、国沢清典教授のご指導によるところが甚大です。学科開設の頃は、情報工学ブームで、多くの国立大学に情報工学科新設が相ついでいたわけですが、国沢先生は情報工学でなく、理学系の学科としての情報科学の樹立をめざされ、教育・研究面で3本の柱を据え置かれました。その1つ1つは、情報数学であり、コンピュータ（ソフト）であり、ORなのです。これに対し、情報工学科では、この3分野の他にコンピュータ（ハード）の分野を抱き込んでいるので、4本柱とみるのがふつうのようです。それでは3本柱と4本柱で、どちらがよいかというと、これは論の分かれるところのようです。ただ、3本だといかにも坐りがよい、という利点があるのは事実のようで、学科内はたいへんシツクリ、うまくいっているように思います。

そのようなわけで、本学科には、国沢先生をはじめとして、何人かのOR学会員が所属し、活躍しておられます。それらの方々のお名前と研究室の研究題目を表示すると、次のようになります。

東京理科大学のモットーは“実力主義”ということです。しかしそれは、単に学生だけに求められるものではないと思います。教員も一体になって、頑張っております。

(牧野都治)

表1 研究室紹介

研究室名	専攻部門	研究分野	卒業生の研究題目
国沢清典研究室	応用統計学	情報理論、時系列解析	情報理論、予測理論、ポートフォリオセクション、クラスターアナリシス、時系列解析
牧野都治研究室	情報計画学	計画数学、待ち行列、データ解析	待ち行列における諸問題、交通流の解析、パレート分析
宮沢政清研究室	応用確率論	待ち行列の理論、確率過程の理論と応用	待ち行列の応用、確率モデル、マルコフ過程の研究
清水邦夫研究室	数理統計学	統計的分布論	多変量解析、統計学、消費者行動分析

## 論文・事例研究の原稿募集！

ORの特徴は実践にあるといわれています。実際的な応用をぬぎにした理論ということはORでは考えられません。本誌でも以前から会員の皆様からの事例研究の報告をお願いしてきましたが、まだ十分な成果をあげているとはいえません

「論文・事例研究」は企業、研究所、大学等で実際に行なった事例を論文としてまとめたものを広く会員の皆様に紹介することを目的として作られた欄です。この論文は2人のレフリーによって正式に審査されますが、マネジメント、行政、工学等の広い分野において適用対象の新しさ、適用方法の新しさ、適用範囲の広さ等が論理的、科学的に論じられたものでありますならば、積極的に採用する方針です。皆様のご投稿をお願い申し上げます。

**投稿要領：**学会原稿用紙36枚（25字×12行）以内（図・表を含む）投稿先はOR学会事務局OR誌編集委員会宛。

なお、原稿の他コピーを2部添付してください。  
(OR誌編集委員会)